

令和7年度 2学期終業式 校長講話 骨子

1) はじめに

おはようございます。長かった2学期も今日で終わります。2学期は、最高気温30度を超えた夏に始まり、今日のような寒い冬を迎えるました。この4か月で、みなさんはどう変化したでしょうか？自分自身、成長した、と思えることはあったでしょうか？

2) 今日のテーマ「認め合い」・周年行事の振り返り

さて、今日は「認め合い」という話をします。長かった2学期ですが、今年の2学期は特別な行事がありました。11月に大泉桜高校創立20周年記念式典を行いました。生徒のみなさんには、特に第2部で部活動の発表を中心に20周年式典に協力してもらいました。改めてこの場を借りて、私からお礼を言います。ありがとうございました。来賓の方からも、生徒の発表が素晴らしかったとお褒めの言葉をいただきました。

発表の中で私が特に印象に残っているのは、「コラボ企画」と「みなさんの鑑賞態度」です。まず、「コラボ企画」ですが、手話部と合唱部のコラボ、ダンス部とアコースティックギター部のコラボ企画があったのを覚えていますか？お互いの良さを生かしながら、認めながらの発表で、これまでそれぞれの単独の部の発表とは違った、表現の広がりがあったように私は感じました。そして、みなさんの鑑賞の態度も、発表をあたたかく見守り、時には手拍子で盛り上がったりしながら、発表の生徒の努力を認め合う気持ちが現れていたと感じました。

式典の校長式辞の中で、私は、創立20周年事業を実施する意義について、こう話しました。

「これまでの本校の教育活動を振り返り、本校の存在意義を確かめ、本校の特色を再認識し、生徒・教職員の帰属意識、自己肯定感の涵養を図ること。」

この、20周年記念行事の意義は実現できたと考えています。難しい言葉でお話ししましたが、大泉桜は美術だけでなく、多様な表現活動をしている生徒がいるのが特色の一つで、またそれをお互いが認め合う、認め合える感性と心の広さをもっているのもサクラの生徒の特徴である、ということを私は再認識できました。改めて私も、そんなサクラの生徒と接しながら、この学校で生活していることをうれしく感じました。

周年行事の中で、アコースティックギター部はオリジナルの曲を披露してくれました。その歌詞の中に、「今日もまた一步ずつ進んでゆく／僕らなりの自分で咲き誇れ」というフレーズがありました。まさにそれが実現された記念式典、記念行事だったと思います。それぞれの個性を表現し、それを認めあう、それがサクラの良さであることを、みなさん教えてもらいました。改めて、みなさんに、ありがとう、とお礼を言います。

3) 卒業制作展・アコギ部ライブの紹介

今話したアコースティックギター部オリジナル曲の「僕らなりの自分で咲き誇れ」というフレーズですが、これはまさに今開催中の卒業制作展にも当てはまります。3年生の美術選択以外の人は見に行きましたか？校内に張られているポスターは見ましたか？今週月曜日から明後日土曜日まで、大泉学園駅につながっている「ゆめりあ」というビルの7階のギャラリーでやっています。今日、明日は夜6時まで、最終日の土曜日は朝10時から午後3時までやっているそうです。

また、今日の放課後には、ここ体育館でアコースティックギター部のライブがあるそうです。しかも今回のライブでも、ダンス部とのコラボ企画があるそうです。大いに盛り上がって、表現する人たちを認めてあげましょう。

4) 結び

少し宣伝になりましたが、私も、サクラの生徒が「僕らなりの自分で咲き誇る」ことを応援します。

最後になりますが、これから2週間の冬休みになります。1月8日の始業式には、また全校でこの体育館に集まり、元気な姿を見せてください。健康に注意し、事故にあわないように、巻き込まれないようにして過ごしましょう。

以上で私の話を終わります。